

「高齢者自転車大会」出場者が交通安全講師

2018-03-20

平成 30 年 3 月 16 日（金）中区の住吉会において、中区まちづくり推進課と協力し住吉交友会の高齢者を対象に交通安全講習会を行いました。昨年 11 月実施された「高齢者交通安全自転車静岡大会」に出場した高齢者が講師となり、正しい自転車の乗り方を披露して、「自己流で自転車に乗るのではなく、正しい知識を得て乗ることが大切。」と、参加者に呼び掛けました。

また、クイックアームやキャッチを体験し自身の俊敏性を測定することで、危険を回避する能力の衰えが交通事故に繋がることを理解してもらい、自転車を含めた車両の運転の自粛を促しました。



ラジオで交通安全！

2018-03-20

交通安全指導員が SBS ラジオ番組で、自転車の交通事故防止を呼び掛ける交通安全メッセージを広報しました。

自転車事故の多くは交差点の出合頭・右左折時に多く起こっており、一時停止と安全確認の重要性を訴えました。浜松市は政令市で人口 10 万人当たりの人身交通事故がワースト 1 であり、ワースト 1 を脱出するためにも自転車利用者は「自転車は車の仲間」であることを自覚して、混合交通の中で車や歩行者と安全に共存するように心掛け、交通事故を未然に防いで欲しいと呼び掛けました。

なお、この放送は、3 月 26 日（月）～3 月 29 日（木）15：40～15：50 の間、SBS ラジオ「ThankQ ドライビング」番組内でお届けします。



卒業前中学生の自転車交通安全教室

2018-03-20

平成 30 年 3 月 9 日（金）浜松市立雄踏中学校において、西区役所とともに雄踏地区交通指導員会の協力を得て、3 年生に対し自転車の参加体験型交通安全教室を行いました。グラウンドに書かれた 8 の字に沿って、交差する所でお互いが衝突しない、また、走行中は足つきをしない、というルールに従い生徒 16 人が一列走行し、安全確認とスピード調節の必要性を確認しました。

この体験により、生徒達に混合交通における相手への気遣いや、周囲への気配りの大切さを学んでもらい交通安全意識の向上を図りました。



卒業前中学生の自転車交通安全教室

2018-03-20

浜松市内の高校生事故は中学生事故の約 3 倍発生し、特に高校 1 年生が 4 割を占めている。そこで、高校入学後、安全に通学してもらうために、管内 10 中学校で卒業前の中学生に対し自転車参加型交通安全教室を行いました。平成 30 年 3 月 8 日（木）実施した浜松市立西部中学校 3 年生に対する交通安全教室では、シートを歩道に見立て、様々な歩行者がいる中を自転車で走行してもらいました。代表生徒からは、「高校入学後は、自転車通学をするので歩行者に気をつけて運転します。」という声も聞かれ、交通事故の加害者とならないよう歩行者保護に留意した走行の必要性を理解してもらえました。

